



水害ハザードマップについて

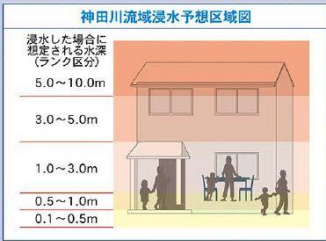
この地図は、東京都の作成した浸水予想区域図を基に、河川の氾濫及び下水道の溢水により浸水が想定される区域及び浸水深を示すとともに各地域の避難所を明示し、区民の皆さんの避難などに役立てるために作成したものです。

浸水被害が予想される区域及びその程度は、想定しうる最大規模の降雨（総雨量690mm・時間最大雨量153mm）を基にシミュレーションを行っていますが、雨の降り方、土地の形態の変化、河川・下水道の整備状況等により変化することもあります。したがって、大雨が降ると、常にこの地図のような浸水被害が発生するというものではありませんが十分にご注意願います。

また、大雨の際には、区から避難勧告や避難指示等の避難情報が発令される場合がありますので、各種気象情報や避難情報には十分にご注意ください。

いざというときに備えて、ご自宅から避難所までの避難経路、マンホールや側溝など危険な箇所などはあらかじめご確認いただきますようお願いいたします。

令和元年6月 文京区



「神田川の外水氾濫区域」について

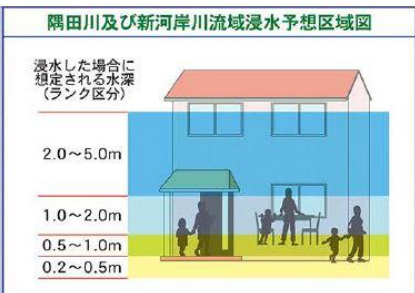
赤いラインで囲まれている区域は、東京都が想定しうる最大規模の降雨により作成した神田川浸水予想区域図を基に、神田川が氾濫した場合に想定される浸水区域を示しています。

なお、雨の降り方や土地の利用形態の変化などにより、浸水被害の状況は変化することがあります。

「標高値」について

区役所、地域活動センター及び区が設置する避難所について、標高値を記載しています。

標高値については、国土地理院の基礎地図情報（数値標高モデル）5mメッシュ（航空レーザ測量）を使用しました。（標高精度については0.3m以内）



この図は、東京都が平成12年9月に発生した東海豪雨（総雨量589mm、時間最大降雨114mm）の降雨実績により作成した「隅田川及び新河岸川流域浸水予想区域図」を基に、隅田川及び新河岸川が氾濫した場合に想定される浸水区域及び浸水深を示しています。

なお、雨の降り方や土地の利用形態の変化などにより、浸水被害の状況は変化することがあります。

凡 例

- 水害時の避難所
- 避難所入口
- 区役所・地域活動センター
- 消防署・消防署出張所
- 警察署・交番
- 区 境
- 町丁目界
- 神田川の外水氾濫区域
- 流域界
- (標高:6.8m) 標高値

【文京区洪水ハザードマップ】



洪水ハザードマップ（浸水想定区域図）について

この地図は、東京都が作成した浸水想定区域図を基に、大雨によって神田川が氾濫した場合の浸水想定区域と浸水深を示すとともに、各地域の避難所を明示し、区民の皆さんの避難などに役立てるために作成したものです。

浸水被害が予想される区域及びその程度は、想定しうる最大規模の降雨（総雨量 690mm・時間最大雨量 153mm）を基にシミュレーションを行っていますが、雨の降り方や土地の形態の変化等により変化することもあります。したがって、大雨が降ると、常にこの地図のような浸水被害が発生するというものではありませんが十分にご注意願います。

また、大雨の際には、区から避難勧告や避難指示等の避難情報が発令される場合がありますので、各種気象情報や避難情報には十分にご注意ください。

いざというときに備えて、ご自宅から避難所までの経路などはあらかじめご確認いただきますようお願いいたします。

令和元年6月 文京区

凡 例	
	水害時の避難所
	避難所入口
	区役所・地域活動センター
	消防署・消防署出張所
	警察署・交番
	区 境
	町丁目界
(標高:6.8m)	標高値

例	
浸水した場合に想定される水深（ランク区分）	
5.0～10.0m	
3.0～5.0m	
1.0～3.0m	
0.5～1.0m	
0.1～0.5m	

家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸侵食）について

洪水が発生した際、家屋が倒壊するような激しい氾濫流が発生するおそれが高い区域のため、区域内に住む方は原則として早期の立退き避難が必要です。

- 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流） 一般的な木造2階建家屋を想定し、洪水時の氾濫流により、家屋が流出・倒壊する恐れがある区域を示しています。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食） 洪水の流れにより河岸が侵食され（削り取られる）恐れがある区域を示しています。